



# 会報 叫び

会報「さけび」 第6号 2月3日／'10

荒瀬ダムの撤去を求める会 会長 本田 進  
元坂本村議会議員と町民有志の会代表 木村征男  
鮎帰印刷所 0965-45-3325 saifukuji@sakamoto-catv.jp

## 4団体県知事へ要望行動

一月二十九日午前、荒瀬ダム撤去を求める県議員連盟の県議四名八代市議三名、球磨川漁協、有志の会、求める会総勢十六名は企業局に知事宛の要望行動を行いました。概要は左の新聞記事の通りですが、球磨川漁協、県議、市議同道であることは大きな力でした。

### 「荒瀬ダムの撤去を」 球磨川漁協など 県議員連盟 要望

「将来的に撤去するにしても水利権は必要」として、2月中に実施を予定している水利権申請に理解を求めた。

### 要望書を局長に渡す大瀬球磨川漁協組合長



この写真は私的刷り込みです

要望では、国交省が荒瀬ダムの水利権3月末に失効することを見解を示していることに触れ「ダム存続は極めて困難な状況になった」と強調。蒲島都夫知事にダム撤去の決断を求めた。

川口局長は県の今後の方針について「知事が総合的に判断して適切な方針を出す」と思っている。と説明。存続を前提に、新年度に予定するダムによる発電所の設備更新には慎重に検討している」と述べ、当初予算案への計上を見送る可能性を示唆した。

月 30日 土曜日

本 日

日

月

(昭和7年4月1日第3種郵便物認可)

第24407号

日 刊

# 荒瀬ダム撤去へ



球磨川下流にある水力発電専用の原形荒瀬ダム＝09年10月9日、八代市坂本町



これは30日の「熊日」朝刊だが、すでに29日の夕刊で報道している。我々が企業局長に撤去を迫っている頃、知事部局ではこの話が進んでいたのか？

## 水利権取得 困難に

### 蒲島知事、近く最終判断

存続問題で揺れた水力発電専用の原形荒瀬ダムを撤去する方向で調整に入ったことが分かった。球磨の水使え方の水権が3月末の期限で失効するのを見送る意向が分かった。32、33年度に間に合わせる。全自治体の既存ダム撤去へ呼びかけ出す。

同テーマめぐっては、旧坂本村議会の議員連盟と「求める会」が連携して、知事部局に撤去を迫っている。この動きは、県が最大の課題としてきた撤去費用の確保が必須条件。国が10年度予算案に盛り込んだ社会資本整備緊急交付金（総額3000億円）の活用を前提に、撤去費用の捻出方法を模索している。シガボール出展中の蒲島知事、知事が帰国後、定期県議会見のある1月31日に最終判断する。

## 各支援団体等の姿勢活動に感謝

一連の荒瀬ダム撤去運動は、「元坂本村議会議員と町民有志の会」に負うところ大である。元坂本村長木村征男氏を中心に、東京国交相、福岡九地建、熊本県庁、熊本下通りチラシ配り等々の行動が間を空けず行われた▼また、坂本駅前公園と八代厚生会館での県民集会は

## 記者会見吟味

知事はある程度明確な態度表明を行なうでしょうが、その内容が「二年間の水利権申請を行い、発電もし、2012年度に撤去工事着手」であれば手放しでは喜ばずまい。

この記者会見に合わせて本日集会を開きました。知事の姿勢を吟味し今後の活動を考えましよう。

2010年(平成22年) 1月30日 土曜日

**熊本日刊新聞**

発行所 熊本日日新聞社 〒960-8505 熊本県熊本市中央区下町1-1-1 電話(096)381-3111

荒瀬ダム撤去、地元は歓迎

県が県営荒瀬ダムを撤去する方向であることが明らかになったことに対し、地元八代市坂本町や球磨川漁協の関係者は「やっと取りやめ」と喜んで歓迎した。一方で撤去条件を冷静に見極めようという声もある。

09年の有効求人倍率、過去最低

2009年平均の有効求人倍率は0.47倍で、前年より0.11ポイント下し、年平均で過去最低となった。09年平均の完全失業率は5.1%で2年連続の悪化。

浅田、逆転Vで五輪に弾み

フィギュアスケートの浅田真央(19)が四大大陸選手権の女子で逆転優勝。「金」を狙うバンクーバー五輪に向け弾みをつけた。鈴木明子(24)は2位。

踏木ダム 地元の声どこに？

熊吉の朝引きにスポットが当てられ